

令和3年度「定時総会」開催

去る5月25日(火)、宇都宮グランドホテルにおいて令和3年度定時総会が開催されました。

本年の総会においても、昨年に倣い新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として「3密」を避けるため、できるだけ委任状での参加を依頼した上で、例年お招きしている来賓の方々にも出席をご遠慮いただき、表彰式も中止とするなど規模を縮小し、時間も短縮して行いました。

会場においては出席者同士の間隔を確保し、換気等に配慮しての開催となりましたが、皆様の御理解と御協力を得て無事に定時総会を開催することができました。

総会には、会員71名の御出席をいただき、委任状出席者と合わせて337名となり、定款に定める定足数を満たし総会は成立いたしました。

谷黒会長は開会あいさつの中で、3月に芳賀町で発生した鳥インフルエンザならびに4月に那須塩原市で発生した豚熱に対し、本県において今まで経験したことのない事態であったにも関わらず、建設業協会関係支部員が県との協定の下に日頃からの研究と訓練の成果により迅速かつ確な対応がとれたことを称賛し、さらに昼夜を徹して対処された労苦に感謝を捧げました。

また、新型コロナウイルス感染症が依然として終息しない状況の中、政府の基本的対処方針において、公共事業は、社会の安定と維持のため、事業の継続を求められていることから、感染防止に細心の注意を払いながら、令和元年東日本台風災害により傷つけられた県土の復旧事業、そして国土強靱化5か年加速化対策の実施により編成された大型補正予算の着実な執行に、総力を挙げて取り組まれるよう会員企業に励ましの言葉をかけました。

さらには、人口減少・少子高齢化に伴う労働力不足などが大きく危惧されている中、これらを克服するための働き方改革、i-Constructionなどの生産性革命等にもきちんと対応し、新しい建設業へと進化を遂げていくため、当協会におきましては、引き続き

「構造改革」に取り組んで参るので、会員のご理解とご協力をよろしくお願ひしたいと、挨拶を結びました。

その後、議事に入り、「令和2年度事業報告・収支決算報告」が原案どおり承認され、今後の協会活動の強化のため会員の増加を狙いとした「入会及び退会規則改正の件」、そして「入会金及び会費規則改正の件」も全会一致で原案のとおり承認されました。続いて理事会承認事項となっている「令和3年度事業計画・収支予算」が報告され、全ての議案審議が無事終了しました。

最後に、司会から本日の総会で、一般社団法人全国建設業協会会長表彰伝達11名、公益財団法人建設業福祉共済団理事長表彰伝達4名、一般社団法人栃木県建設業協会表彰永年勤続役員4名、永年勤続優良従業員123名の表彰式が行えなかったことから、支部を通じご伝達いただくよう依頼し、総会の幕を閉じました。

また、同日には、建設業労働災害防止協会栃木県支部の総会が、また、5月27日には栃木県建設産業団体連合会、栃木県建設業協同組合連合会、栃木県土木施工管理技士会の総会が開催され、それぞれ令和2年度事業報告・収支決算報告、令和3年度事業計画・予算案等が承認されました。



令和3年度 総会の様子